

日本の大学との大きな違い

オーストリアでの学生生活は、日本の学生が普通と思いき描くものとたくさんの違いがあることと思います。ここでは、過去の学生が戸惑いがちだった事例をふたつご紹介します。

研究室の構造

オーストリアの各研究室は非常に多くの学生を抱えています。ごく一部の例外を除き、博士・修士課程問わず学生のためのデスクはありません。

JASEC に日本からの留学生が作業・勉強できる学習室がありますのでご利用下さい。

アカデミック・アドバイザーとの関わりについて

こちらは日本で言う「担当教官」にあたります。しかし、オーストリアの大学では担当教官から学生を呼んで論文の進み具合や面倒を見るというようなシステムがありません。先生一人当たりの担当学生が非常に多いこともありますが、会社勤めの傍ら論文を書く学生がたくさんいたり、卒業時期や年数が人によってバラバラなために研究の進度が人によって大きく違うことも理由の一つかと思います。学生自身が目的意識を強く持ち、自主的に行動する必要があります。アドバイスを欲しいとき、質問があるときは先生に自分から積極的にコンタクトをとりましょう。

JASEC にご相談下さい。

研究が進むと、範囲がアカデミック・アドバイザーの専門分野から外れたり、他の専門家の意見が必要になることもあるかと思います。そんな時は JASEC にお気軽にご相談下さい。(もちろん、まずご自分のアカデミック・アドバイザーに相談するのを忘れなく!)